

(様式2)

2021年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

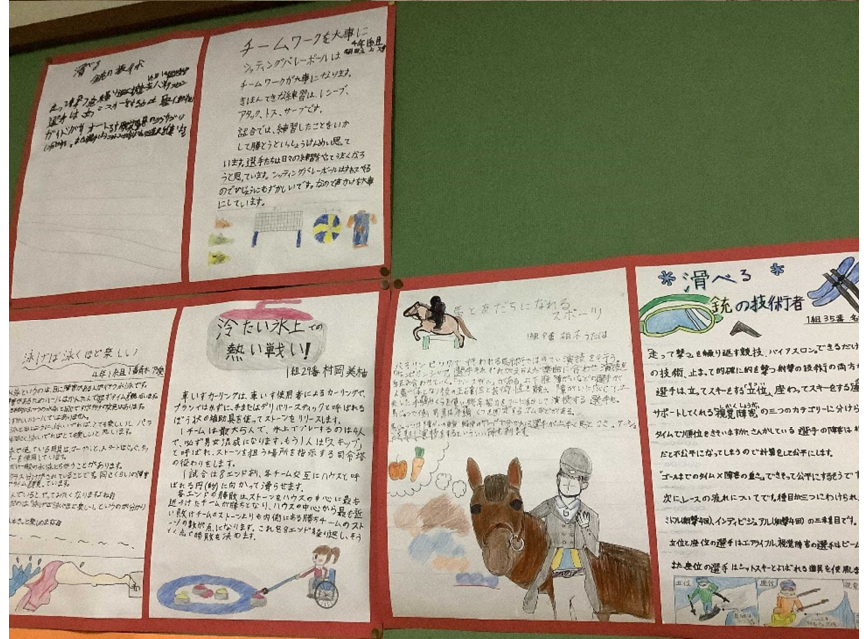
事業実施報告書

I	スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II	マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III	スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV	日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V	スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 静岡県 】

学校名【 伊東市立大池小学校 】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・V (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	第4学年児童 1組 35名 2組 36名 計71名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	パラリンピックスポーツを学ぶことを通して、福祉の心と多様性を尊重する態度の育成を図ることを目的とする。
5 取組内容	(導入期) 3 時間 パラリンピック教材『I'm POSSIBLE』を活用し、パラリンピックの価値やパラリンピアン香西選手のことについて考える授業を実施した。 (展開期～実技～) 8 時間 伊東市出身のメダリストでもある杉村選手のボッチャについて興味を持ち、実際に実技を実施した。また、ゴールボールについてもルールを調べ実施した。 (展開期～調べ学習～) 6 時間 パラスポーツ全般に興味を持ち、全てのパラスポーツについての調べ学習を実施した。一人一人が分担をし、各スポーツについてのパンフレットやポスターを作成し発表をした。



(まとめ期) 6時間

学年でパラスポーツ大会を計画・実施した。一人一人が自分の役割を自覚し、責任を持って大会の運営に関わることができた。



シッティングバレーの様子(上)とボッチャの様子(下)





大会運営では各クラスでメダルの準備をし、表彰式まで、自分たちの手でやり遂げることができた。会場の横断幕は伊東市役所から譲り受けたパラリンピックの本物を使用した。

6 主な成果

- ・パラリンピックスポーツを通して、どのような人でもスポーツを楽しめるということの大切さを実感することができた。
- ・大会運営を通して、学年で協力すること、自分の責任・役割を果たすことの大切さを学ぶことができた。

<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>伊東市出身のボッチャの金メダリスト、杉村選手との交流をメインに計画をしていたが、コロナ禍の中で実施が難しくなり、現時点では交流ができていない。しかし、子どもたちは郷土の英雄について誇りに感じている子が多かった。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>本校には、ボッチャとゴールボールの競技セットが体育館にあったため、競技を実施することができたが、一般的には競技セットは置いていないところが多いと予想される。道具は購入すると高価である。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>コロナ禍がどのように沈静化するのか、その推移を見守りながら、次年度以降の計画を考えていきたい。</p>